

インターバンクの声（2017 年 11 月 8 日）

次期 FRB 議長の指名、米雇用統計の発表、トランプ米大統領の訪日といった一連の注目イベントを消化したとあって、足元では新規の手掛かり材料もなく、円相場も 114 円を挟んで上下に数十銭程度しか動かないのも仕方ない。もっとも今週はこれから本番で、中国を訪問するトランプ米大統領と習近平国家主席との会談から伝わってくる内容次第では市場が大きく反応することになるだろう。それにしても北朝鮮はこの数日間で挑発行動を起こすこともなく、トランプ米大統領の訪日前に日本を名指しで非難した程度で、米中会談の行方を見守っているに違いない。米中会談からの情報がどのタイミングで伝わり始めるかは不透明だが、それまでは米長期金利の変化や米国を中心とした株価動向に注意を払いながらの相場展開が続くそう。ただ、米中会談から特段の話が伝わって来ないようだと、法案審議が始まった米税制改革の行方や中東情勢を巡っての原油価格の変化などに視点が急に移る可能性もあるので要注意だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。